

CHANGE AND CHALLENGE

第77期 中間報告書

2009.04.01-2009.09.30

帝国ピストンリング株式会社

TPR

証券コード：6463
(東証一部)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配とご支援を賜り、まことにありがたく厚く御礼申し上げます。当社第77期第2四半期累計期間が終了いたしましたので、概況につきご報告申し上げます。

自動車不況をTPRグループ全社一丸で乗り切ります。

サブプライムローンの破綻に端を発した金融危機から1年を経過し、一部には景気の底入れ、あるいは反転の兆しとの報道がされるようになってきました。

しかし世界の自動車産業においては、好調を維持する中国や一部の途上国を除き、減税等のインセンティブ効果やエコカー人気も限定的であり、また景気の二番底が懸念されるなど、依然として完全回復には程遠い状況と言わざるを得ません。私どもTPRグループにおきましても、引き続き厳しい企業経営の舵取りを迫られる状況下にあると認識しております。

今回ご報告いたします2009年度第2四半期業績は、国内市場の穏やかな回復と、更に中国市場の急拡大、原価低減活動や経費削減努力などにより、第2四半期（7月～9月）のみでは連結黒字に転換いたしました。ただし、第1四半期（4月～6月）の赤字幅が大きかったため、第2四半期累計としての赤字化を回避することは出来ませんでした。株主様にはお詫びを申し上げますと共に、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。配当につきましては、このような厳しい環境のもと、年間6円（中間3円）とさせていただきます。

海外戦略を積極的に展開。

2009年度後半につきましても、新興国を除き世界的な自動車需要の低迷は更にしばらく続くものと想定され、国内自動車メーカー各社の販売生産計画も慎重な姿勢を崩していません。TPRグループにおきましても、現在の状況が今後も続くとの厳しい認識のもと、更なる企業の体質強化、革新活動の歩みは止めることなく実行してまいります。

特に、TPRグループの強みである世界5極における販売・生産拠点を駆使することにより、回復著しい発展途上国市場向けを拡大させながら、国内においては生産拠点の集中と革新を徹底的に進めて、現状を乗り切っていくことに全力を注いでまいります。一方で、技術開発のスピードは緩めることなくさらに磨きをかけ、将来の需要拡大のチャンスに備えてまいります。

第2四半期連結決算ハイライト

■売上高	19,228百万円
■営業利益	△835百万円
■経常利益	△695百万円
■純利益	△912百万円

グループ関係会社においては、好調な中国各社に加え、今後需要拡大が見込まれるアセアン地区の供給拠点としてベトナムのTPRV、さらに市場が急拡大しているインドのTPRIを戦線に加えることで、グローバル供給体制の充実を進めてまいります。

私どもTPRグループは、このような厳しい環境下でも、「チェンジ アンド チャレンジ」を合言葉に経営の合理化、効率化を徹底して実行し、将来に向けた企業体質の強化と体制作りを進めてまいります。

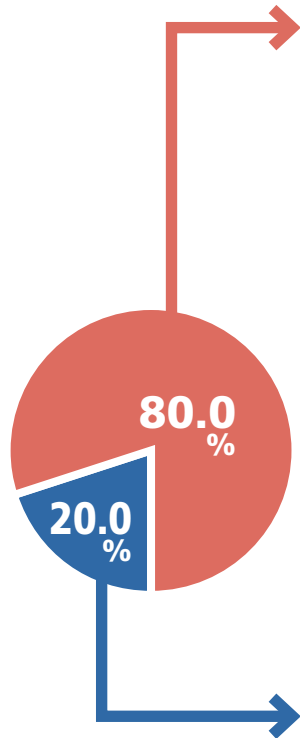
今後とも、皆様の変わらぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長
平出 功

セグメント情報

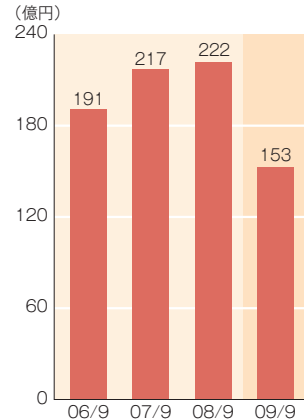
売上高構成比率(当第2四半期連結累計期間)



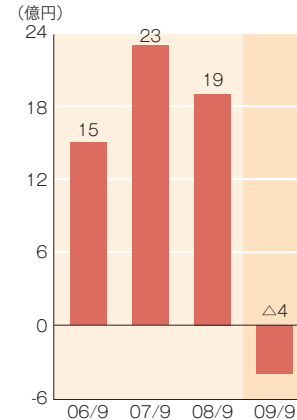
自動車関連製品事業

自動車関連製品事業全体では、売上高153億8千8百万円（前年同期比31.0%減）となりました。ただし、当第2四半期連結会計期間の対第1四半期連結会計期間増収率は3割弱の急速な回復基調にあります。その結果、営業損失は4億5千7百万円となりましたが、当第2四半期連結会計期間は売上高の回復に伴い営業利益に転じました。

売上高



営業利益

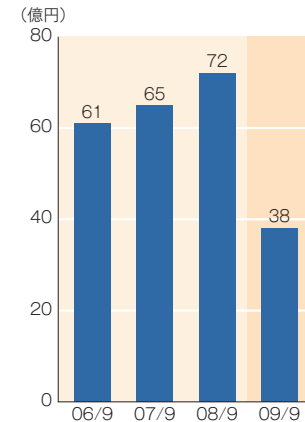


その他製品事業

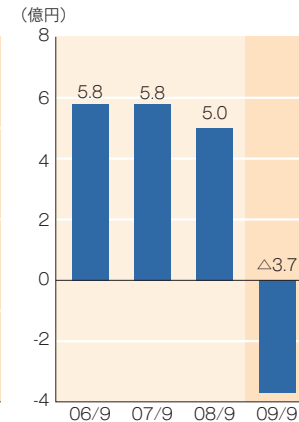
景気後退の長期化による設備投資抑制の影響を受け、減収率は第1四半期連結会計期間を上回る落ち込みとなりました。

この結果、その他製品事業全体としては、売上高38億3千9百万円（同46.9%減）、営業損失3億7千7百万円となりました。

売上高



営業利益



通期の見通し

当第2四半期連結累計期間は売上高、損益項目ともに前回発表予想を上回ることができました。通期につきましても、好調であった海外拠点の業績が一層拡大するとともに、国内拠点の回復が予想されるため、2010年3月期連結業績を下記のように予想しております。

2010年3月期通期連結業績予想

売上高	42,200百万円
営業利益	0百万円
経常利益	700百万円
当期純利益	△ 500百万円

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。詳しくは、みずほ信託銀行（0120-288-324）にお問い合わせ下さい。

特別口座について

証券会社等の口座にて株式を管理されていない株主様につきましては、株券電子化後に当社が特別口座を開設し、管理させていただいております。特別口座にて管理されている株式をご売却されるには、証券会社等の口座へ振替手続を行う必要があります。お手続き方法等詳細につきましては、当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行（0120-288-324）へお問い合わせください。

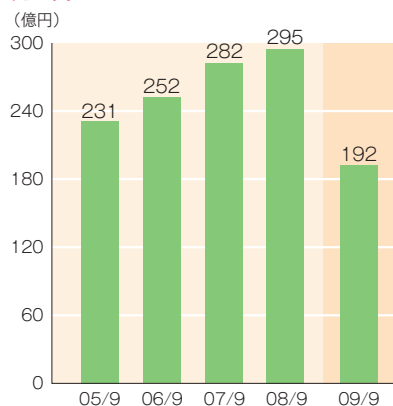
業績の概況

当第2四半期連結累計期間を取り巻く環境は、各国の景気刺激策効果により一部で回復の兆しが見られるものの、失業率悪化に改善傾向はなく、内需による自律的な景気回復には至っておりません。円高が継続し、回復基調に対する反動が危惧される中、不透明感が増加する情勢となってまいりました。

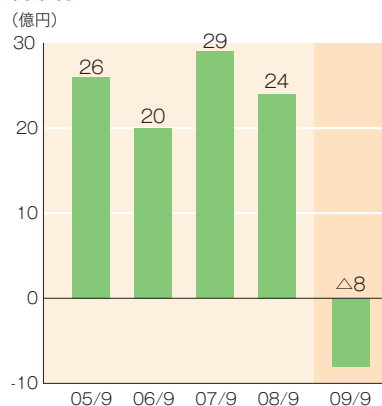
当社グループが主として関連する自動車業界もグローバル自動車需要の拡大と一部地域での在庫不足、減税や補助金による政策サポートにより当第2四半期連結会計期間は回復基調に転じましたが、設備、雇用の過剰感は否めない状況であります。

このような環境の中で、当社グループは総力をあげて売上高の伸長、原価低減活動、固定費削減等、収益改善に取り組んでまいりましたが、操業度低下、減価償却費増加等の損益悪化を吸収しきれず、当第2四半期連結累計期間の売上高は192億2千8百万円（前年同期比34.9%減）、営業損失は8億3千5百万円（前年同累計期間は24億6千8百万円の営業利益）、経常損失は6億9千5百万円（前年同累計期間は32億4千2百万円の経常利益）、四半期純損失は9億1千2百万円（前年同累計期間は22億1千1百万円の四半期純利益）となりました。

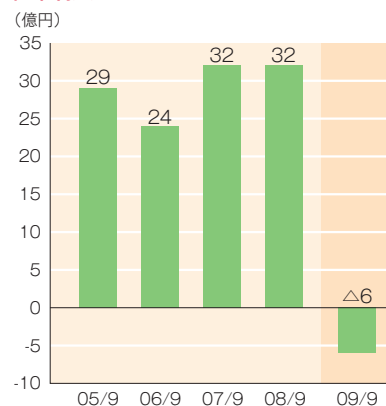
売上高



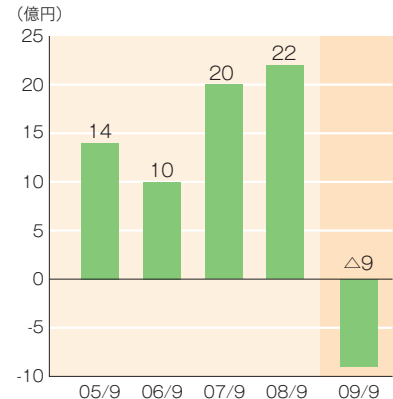
営業利益



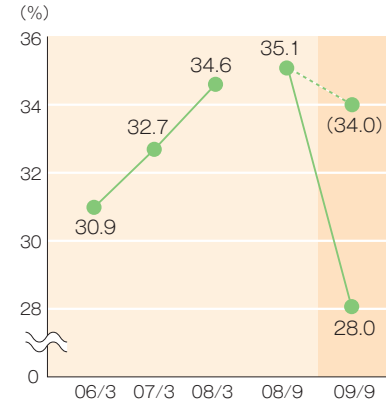
経常利益



純利益

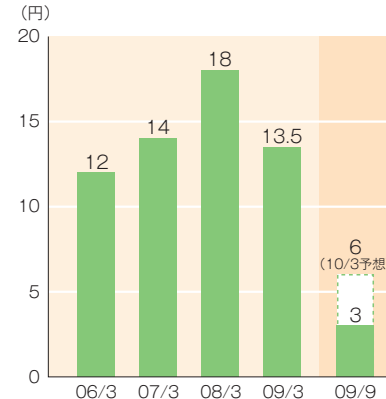


自己資本比率



※09/9の()内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

1株当たり配当金



財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して16億1千8百万円減少し、768億5百万円となりました。これは主に現金及び預金が9億2千1百万円、たな卸資産が8億9千1百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して31億8千1百万円減少し、517億5千1百万円となりました。これは主に借入金が10億8千6百万円、支払手形及び買掛金が8億8千6百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して15億6千3百万円増加し、250億5千4百万円となりました。これは主に少数株主持分が13億6千5百万円増加したこと等によるものであります。

資産・負債の状況(百万円)

流動資産	31,069	負債合計	51,751
固定資産	45,736	流動負債	32,176
資産合計	76,805	固定負債	19,574
		純資産合計	25,054
		負債純資産合計	76,805

キャッシュ・フローの状況(百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	3,154	(収入)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,279	(支出)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,970	(支出)
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,474	

ダイハツ『品質優秀賞』を 5年連続受賞!

2009年4月9日に開催された2008年度ダイハツ工業仕入先総会において、TPRは『品質優秀賞』と特別賞である『連続品質優秀賞』を受賞しました。これらの賞は、ダイハツ工業の品質評価における最高レベルの賞であり、ダイハツ工業と取引をしている仕入先約200社余りの中から選出される賞です。

特に連続品質優秀賞は、品質優秀賞を継続して受賞している会社に贈られる特別賞であり、2008年度は2社のみにも与えられた貴重な賞です。TPRはこの連続品質優秀賞を、今回で5年連続して受賞しました。



株式情報 (2009年9月30日現在)

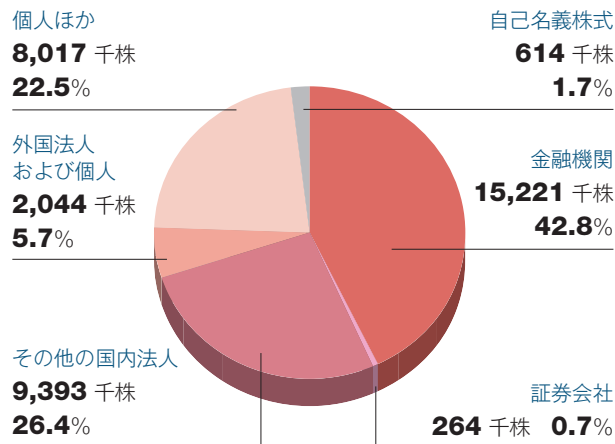
株式の状況

発行可能株式総数	135,000,000 株
発行済株式の総数	35,553,099 株
株主数	9,065 名
上記のうち議決権を有する株主数	8,299 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395	6.74
株式会社損害保険ジャパン	2,293	6.45
トヨタ自動車株式会社	2,071	5.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,862	5.24
株式会社みずほコーポレート銀行	1,519	4.27
帝国ピストンリング取引先持株会	1,073	3.02
東京建物株式会社	934	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	892	2.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	799	2.25
みずほ信託銀行株式会社	766	2.15

所有者別株式分布状況



会社概要 (2009年9月30日現在)

- 社名 TPR帝国ピストンリング株式会社
- 住所 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館
TEL : 03-5293-2811 (大代表)
URL : <http://www.tpr.co.jp/>
- 資本金 43億62百万円
- 設立 1939年12月3日
- 従業員 927名

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 基準日 毎年3月31日
開催日 毎年6月中
- 剰余金の配当 期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告 (事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載)
<http://www.tpr.co.jp/>
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
同事務取扱場所 本店証券代行部
- お問い合わせ先 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

- ホームページアドレス <http://www.tpr.co.jp/>

TPR 帝国ピストンリング株式会社

